



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月1日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 あみやき亭
コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,938	1.6	1,521	△2.2	1,561	△2.7	1,011	△4.0
30年3月期第2四半期	15,690	3.8	1,555	3.2	1,605	2.5	1,053	△2.6

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,011百万円 (△4.0%) 30年3月期第2四半期 1,053百万円 (△2.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	147.69	—
30年3月期第2四半期	153.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
31年3月期第2四半期	25,300		20,975		82.9
30年3月期	24,910		20,306		81.5

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 20,975百万円 30年3月期 20,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
31年3月期	—	50.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	4.3	3,180	5.0	3,300	6.3	2,100	3.6	306.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期2Q	6,848,800 株	30年3月期	6,848,800 株
31年3月期2Q	224 株	30年3月期	185 株
31年3月期2Q	6,848,576 株	30年3月期2Q	6,848,644 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、節約志向により個人消費には力強さは見られず、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、依然として消費者の強い節約志向に加え労働需給逼迫に伴う人件費の上昇などにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして、新商品として厚切り肉の「がっつりシリーズ」を導入し、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供するなど他社との差別化を図りました。また、人手不足対策と接客・サービス力向上を目指し、パート・アルバイトの「多能工化」と「焼肉マスター」への取組を引き続き行うなど既存店の強化に努めてまいりました。

さらに、スマートフォン向け販促アプリ「あみやき亭公式アプリ」を導入し、アプリの「店舗予約」や「店舗検索」機能によりお客様の利便性向上を図る一方、アプリを通じて、お客様へ「イベント情報」や「各種クーポン」を直接配信することにより来店促進を図りました。また、ご来店回数やご利用金額により「会員ステージ」を設定するなど、より一層お客様満足度の向上に取り組みました。

店舗数につきましては、新規出店5店舗（焼肉事業2店舗、その他事業3店舗）したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は253店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、15,938百万円（前年同期比1.6%増）、損益面につきましては、国産牛肉相場の下落に伴う原材料費が低下したものの、人件費関連コスト等販売費及び一般管理費の増加により営業利益1,521百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益1,561百万円（前年同期比2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,011百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、2店舗新規出店した結果168店舗であります。内訳は、あみやき亭110店舗、どんどん22店舗、かるび家4店舗、スエヒロ館19店舗、ほるとん屋8店舗、ブラックホール4店舗、島津1店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」を提供するとともに、接客・サービス力向上に向けた「多能工化」と「焼肉マスター」の取組強化を行うなど既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドの知名度と「食肉の専門集団」である強みを活かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを発揮した展開をしております。

また、株式会社アクトグループが経営する焼肉業態へ当社より焼肉食材を供給し、一層の品質向上に努めてまいりました。

以上の結果、焼肉事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、12,016百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、55店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めてまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,850百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、3店舗新規出店した結果30店舗であります。

内訳は、当社が経営するレストランの「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」3店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営するレストランの「スエヒロ館」14店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」6店舗、ダイニング3店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」は、美味しい国産牛のステーキ、ハンバーグをお値打ち価格にてご提供する本格的ディナーレストランとして今後、中部地区においてドミナント展開を行ってまいります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、スエヒロブランドを活かしつつ「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産牛ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

株式会社アクトグループでは、経営する寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指しております。また、寿司業態では各店舗で行っている鮮魚の仕入およびカットをセントラルキッチンに一部移行するなど業務の効率化並びにコストダウンを図るとともに全国各地の産地直送鮮魚をお値打ち価格で提供するなどお客様満足度の極大化に努めております。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,066百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

なお、各事業の売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、25,300百万円となり、前連結会計年度末と比較し、390百万円増加しました。主な要因は土地等の増加によるものです。

負債総額は、4,324百万円となり、前連結会計年度末と比較し、278百万円減少いたしました。主な要因は未払法人税等の減少によるものであります。

純資産総額は、20,975百万円となり、前連結会計年度末と比較し、668百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年4月2日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,587	10,558
預け金	194	195
売掛金	4	4
商品及び製品	70	79
原材料及び貯蔵品	283	169
その他	628	784
流動資産合計	11,768	11,790
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,626	5,796
構築物(純額)	313	334
機械及び装置(純額)	289	312
車両運搬具(純額)	18	18
工具、器具及び備品(純額)	262	257
土地	2,561	2,706
建設仮勘定	25	33
有形固定資産合計	9,096	9,459
無形固定資産		
ソフトウェア	6	34
のれん	498	475
その他	61	34
無形固定資産合計	566	544
投資その他の資産		
投資有価証券	5	5
長期貸付金	351	345
繰延税金資産	690	690
差入保証金	1,443	1,466
投資不動産	310	308
その他	676	689
投資その他の資産合計	3,478	3,505
固定資産合計	13,141	13,509
資産合計	24,910	25,300

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,159	966
未払金及び未払費用	1,268	1,246
未払法人税等	662	615
賞与引当金	132	127
役員賞与引当金	—	15
株主優待引当金	5	11
ポイント引当金	47	42
その他	578	543
流動負債合計	3,854	3,567
固定負債		
リース債務	321	320
資産除去債務	392	404
その他	34	32
固定負債合計	749	756
負債合計	4,603	4,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,406	16,075
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,306	20,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益累計額合計	0	0
純資産合計	20,306	20,975
負債純資産合計	24,910	25,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	15,690	15,938
売上原価	5,793	5,761
売上総利益	9,896	10,176
販売費及び一般管理費	8,340	8,655
営業利益	1,555	1,521
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	17	17
協賛金収入	25	14
その他	4	6
営業外収益合計	50	41
営業外費用		
不動産賃貸費用	1	1
支払利息	—	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	1,605	1,561
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	0	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	17	17
その他	—	0
特別損失合計	17	18
税金等調整前四半期純利益	1,588	1,544
法人税、住民税及び事業税	545	532
法人税等調整額	△10	0
法人税等合計	535	533
四半期純利益	1,053	1,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,053	1,011

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,053	1,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	1,053	1,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,053	1,011

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。